

北イタリア安全対策情報（2016年1月～3月）

1 社会・治安情勢

昨年11月のパリ連続テロ事件及び3月のベルギー連続テロ事件を受け、観光地を多く抱える当地では警察や軍による警戒が引き続き厳重に行われているが、治安当局は具体的なテロの脅威はないと発表している。

当地警察では、テロ予備軍となり得る者やインターネット上でテロの扇動を行った者等については積極的に国外退去処分をとるなどして、テロ対策に取り組んでいる。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 犯罪の傾向

ミラノ周辺の観光地、ターミナル駅及び列車内における盗難被害が多く発生している。また1月から3月末までの間に、マルペンサ空港及びミラノ中央駅において邦人を狙った詐欺・恐喝を端緒とするクレジットカード不正使用事件が発生し、当館に被害情報が寄せられている。

3月には、リナーテ空港からのバスが到着するサン・バビラ駅周辺において、警察官を装った者に所持品検査を求められ、その際に現金の一部を盗まれる被害も発生している。

(2) 邦人被害事案

当館ホームページ「日本人の被害状況」参照

(3) 邦人以外の被害事案

ア 強盗・恐喝

(ア) 1月1日午前6時頃、ミラノ近郊カネグラテに所在するレストランの売上金を狙って3人組の男が押し入り、57歳の男性店主の腰を刺す等して、売上金12,000ユーロを奪って逃走した。

(イ) 1月14日午後8時20分頃、ミラノ市クワルト・オッジャーロ地区のロペス通りで、パールの売上金を奪う強盗事件が発生し、被害男性が殴られ重体となった。

(ウ) 2月19日午前10時頃、ミラノのチェルメナーテ大通りの銀行で、強盗事件が発生したが、犯人3名は逮捕された。

イ 殺人

(ア) 3月3日午後9時頃ロンバルディア州サンダミアーノ・アルコッレにおいて、息子を拳銃で殺害した男が自首し、逮捕された。

(イ) 3月26日午後3時15分頃、ミラノのフィエラ・ミラノ・シティ地区で44歳の女性が同居する男を小型の刀で殺害し、逮捕された。

ウ その他

- (ア) 1月16日、ミラノ近郊のロツァーノ市で、46歳の前科を有する男が、近隣宅に発砲し、逮捕された。
- (イ) 1月23日午後8時30分頃、ミラノのゴールドーニ通り所在の祈禱所に侵入した2人組の窃盗犯が司祭と警察に逮捕された。
- (ウ) 2月6日午後8時頃、ミラノのガリバルディ大通りで、友人と通行中の女性からバッグを奪おうとした男が、通行人らに逮捕された。
- (エ) 2月10日、ミラノのポスコヴィッチ通り近くのホテルで商談中、400万ユーロ相当のダイヤモンドが入った容器をすり替えられ、だまし取られる事件が発生した。
- (オ) 2月13日午前、ミラノのサンマルティーニ通りにおいて、覚醒剤の密売容疑で2人が逮捕された。
- (カ) 2月23日早朝、ロンバルディア州モンツァにおいて、コカインや大麻の密売に関わった50人が逮捕された。
- (キ) 2月27日午後3時30分頃、ミラノのスカラ広場で財布を盗んだ2人組の女スリ犯が逮捕された。
- (ク) 3月1日午後、ミラノのヴェネツィア大通りやジェノバ大通りの高級洋服店で男女2人組が2,700ユーロ相当の万引きをし、男が逮捕された。
- (ケ) 3月5日午前11時頃、2人組がミラノのクサーニ通りの宝石店ショーウィンドーを割って、時価55,000ユーロ相当の時計2個を盗んで逃走した。
- (コ) 3月9日、ミラノのフィエラ地区において、車のタイヤを盗もうとした3人組が逮捕された。

3 テロ・爆弾事件発生状況

特になし

4 誘拐・脅迫事件発生状況

(1) 邦人被害事案

なし

(2) 邦人以外の被害事案

なし

5 日本企業の安全に関わる諸問題

特になし